

ODAの地政学

2016年11月28日(月)

@参議院会館

高橋清貴(恵泉女学園大学/JVC)



Vision for Nacala Development Corridor

(Nampula でのワークショップより)

Prosperity

Economic Autonomy and Stability

Social Stability

29/44

Future Prospects in the Study Area (Nacala Corridor Region)

- **Development Potentials** to be utilized for economic development within Nacala Corridor Region
- **Transport Corridor System** to be established in the Nacala Corridor Region
- **Urban and Industrial Centres** to Emerge as Growth Poles within Nacala Corridor Region

30/44

開発ポテンシャル・マップの整理

Development Potentials in the Study Area

35/44

期待される今後の都市・産業の中心

36/44

Three Export Routes for Coal from Tete

37/44

Natural Gas Development in Cabo Delgado Province

Recent exploration at

36/44

短期で取り組むべき方策(戦略ごと)

Economic Development

- 農業開発(Pro-SAVANA)、鉱工業開発、加工業開発、観光開発、物流セクター開発、投資促進

Spatial Development

- 輸送回廊(MTC-SDP)、都市開発(UN-Habitat)、インフラ(水資源、電力(発/送/配電)、通信、社会インフラ)

Capacity Development

- 経済発展を支える人材開発、政府の能力向上、組織間のメカニズムの向上(州政府間、国家プログラムとの調整、国際回廊)

Environmental Management

- 自然および社会環境管理

今後、具体化と優先すべきプロジェクトの抽出を実施(↓抜粋)。

- 農業開発/メガプロジェクトへの供給/農産加工業の促進
- ナカラSEZの開発(加工産業の育成)
- メガプロジェクト従事者を意識した観光開発
- 国際ゲートウェイの整備
- 都市計画・開発(ナカラ: SEZ/IFZを含む、ナンプラ: 州都・鉄道/道路バイパス、クアンバ: 物流拠点)、これらに必要な電力・水の供給
- Inclusive Dev.

上記の開発ポテンシャルのみではなく、ナカラ回廊地域の貧困層への裨益や、地域の一体的な底上げを図ることを目指す

Tree Planting Commercial

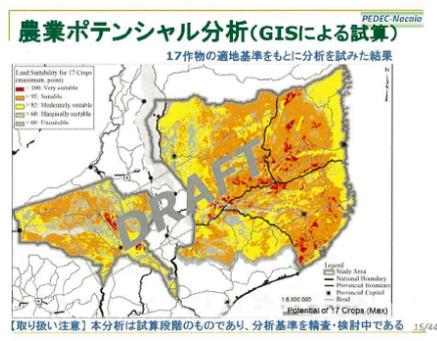
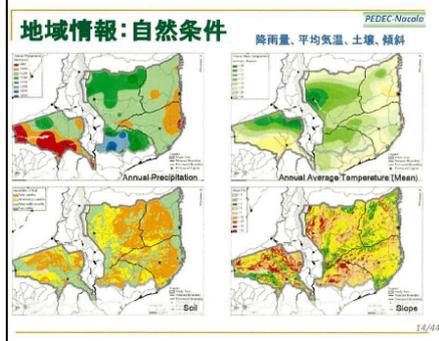
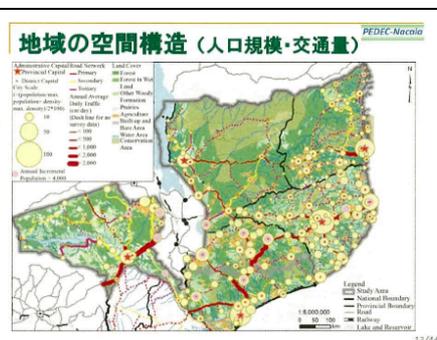
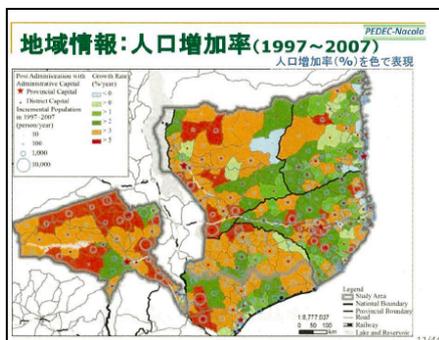
37/44

Exploração de Carvão

37/44

Exploração de Gás Natural

36/44



- 地政学: 地理的な環境が国家に与える政治的、軍事的、経済的な影響を巨視的な視点で研究
- キーワード: 生存適地、資源地域、交通地域、自給自足、シーパワー、ランドパワー、ハートランド、etc.
- 目的: 国家が、国際関係の生存競争の中で、発展し続けるための拡張政策を正当化する。
- ODAの役割(表向き): 受取国が経済開発でランドパワーを強化する。
- 強大なアフリカ: 面積—3037万Km²(日本の80倍)
人口—10.3億人→21.9億人(2050)
+経済成長+人々のエネルギー+軍事力

=>なぜ、アフリカを脅威と考えないか？

国家安全保障→エリート安全保障

- ランドパワー理論の限界／ランドパワーの溶解
←新たな囲い込みによる境界線のシフト
- 国境を越えてランドパワーの源泉(土地と人)を囲い込む
 - ① 生存適地と資源地域の切り分け
→土地の私有化、都市化と労働力商品の確保
 - ② エリートネットワークによる「有能」なアフリカ人(シンボリック・アナリスト)の確保+政治的・民族的ネポティズム→周縁化された人々の発生(都市貧困層、難民、etc.)、社会不安の増大、ガバナンスの悪化
- エリートを「守る」ための言説
対テロリズム、強権政治の正当化、メディアによる市民の受動化、NGOの締め付け／囲い込み

周縁化された人々の運動

- ヘゲモニーを握る権力構造から差別と周縁化によって社会的、政治的、地理的に疎外された人々の連帯の広がり。例、オキュパイ運動、ビア・カペシーナ(農民の道)、韓国デモ(?)、etc.
=> 求めているのは「集合的自己決定」
- 「農民主権」
生産手段と自然資源(土地、水、森林)の維持、
共同体／農民の人格的關係の維持、
伝統的に培われた「一般的社会知性」の尊重、
規範基準の自己決定
→既存のヘゲモニーに対する抵抗と自己決定を
求める声
- SDGs(持続可能な社会)へのインプリケーション